

カテゴリー 震災の教訓
 番号 A-03
 催行期間 通年
 所要時間 2 時間 30 分
 キーワード 体験
 ソーシャルビジネス
 ものづくり

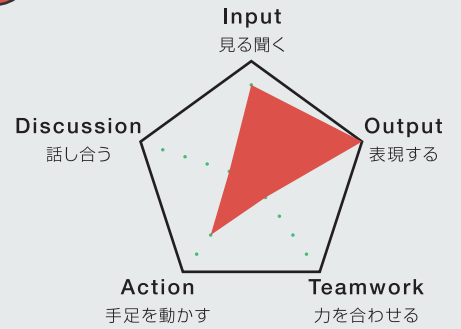
タコから始まるソーシャルビジネス



ゆめ多幸鎮（文鎮）色塗りの様子



学びのポイント



廃校利用した YES 工房のものづくり体験から
 ソーシャルビジネスの一つのかたちを学ぶ



YES 工房外観



ゆめ多幸鎮色塗り前



オクトパス君桜とともに



概要

ゆめ多幸鎮色塗り体験、ワークショップを行います

YES 工房の事例からソーシャルビジネスを学びます。
 震災直後の混乱の中、町や人が活気づくためには生き生きと働ける場が必要だと、雇用促進・地域振興のため YES 工房は設立されました。

主要製品「ゆめ多幸鎮オクトパス君」色塗り体験を通し、震災を経て町の復興シンボルとなるまで、今後の展望をスタッフの思いを交え講義します。最後に、自分の地元ではどんなソーシャルビジネスが起こせるかを考えます。



タイムスケジュール

0:00 ~ 0:30	レクチャー 「オクトパス君が主要製品になるまで」
0:30 ~ 2:00	体験 「ゆめ多幸鎮オクトパス君」色塗り体験
2:00 ~ 2:30	ワークショップ 「地元の特産品 + 手仕事=新ビジネス」



インフォメーション

所要時間	2 時間 30 分
催行期間	通年
最少催行人数	10 名
最大人数	30 名
フィールド	入谷地区
持ち物	なし



講師紹介



YES 工房 スタッフの方々

育児中のお母さん、震災後町に U ターンした若者など、立場は様々ですが全員が町内在住、または町内出身者です。震災直後の立ち上げの時期から YES 工房を支え、日々全国に向けて商品と感謝の思いを発信しています。

留意事項

- ・人数によって所要時間が前後する場合がございます。
- ・体験に必要な用具類は貸出致します。
- ・色塗りした文鎮（ゆめ多幸鎮オクトパス君）はお持ち帰りいただけます。